

岩手山の火山活動解説資料（平成 25 年 1 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警
報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1～6①）

柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、岩手山山頂、大地獄谷及び黒倉山山頂からの噴気の高さは 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

21 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により実施した上空からの観測では、前回（2013 年 4 月 10 日）と比較して大地獄や岩手山山頂等の噴気地熱地帯の高温域¹⁾の状況に特段の変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・ 地震や微動の発生状況（図 6②～⑤）

2 日と 3 日に山頂東側で低周波地震がまとまって発生しましたが、火山性地震の月回数は 41 回で低調に経過しました。低周波地震が発生した前後で、空振計及び地殻変動データに変化は認められませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 8）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 岩手山 黒倉山の噴気の状況（1 月 23 日 14 時 45 分頃）

- ・ 柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラで黒倉山の山頂部を拡大した映像です。
- ・ 赤丸実線で囲んだのが、黒倉山山頂の白色噴気で高さ 50m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 2 月分）は平成 25 年 3 月 8 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

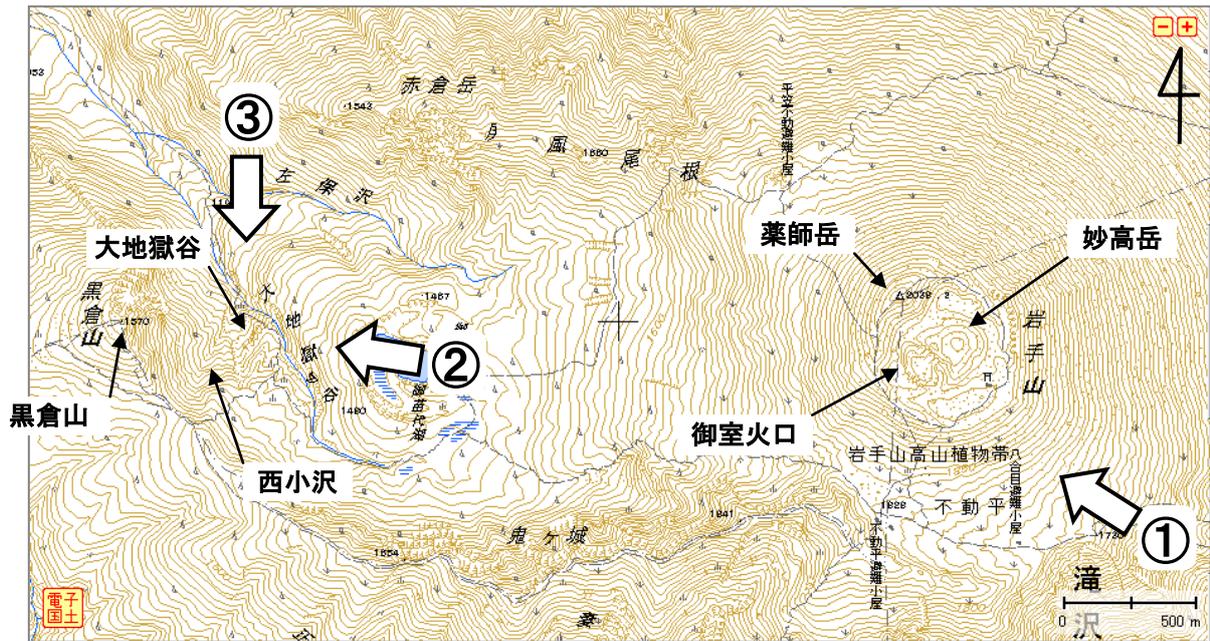


図 2 岩手山 上空からの撮影ポイントと撮影方向

・ 図中の矢印①は図 3、矢印②は図 4、矢印③は図 5 の撮影位置と方向を示します。

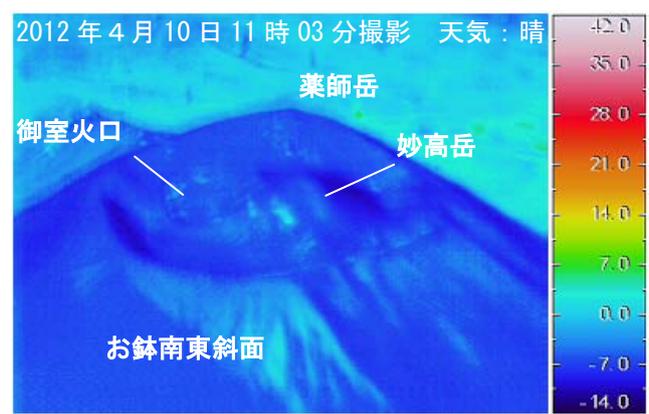
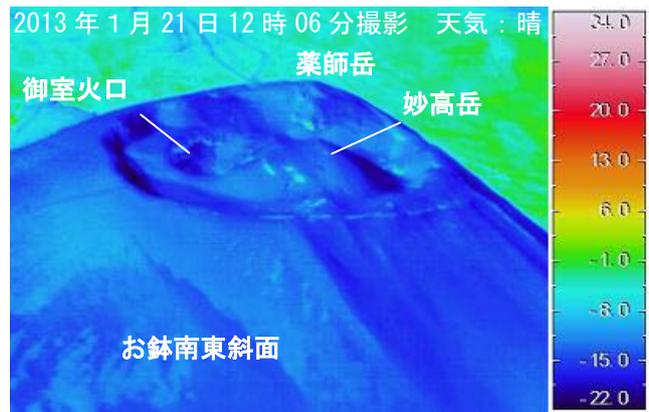
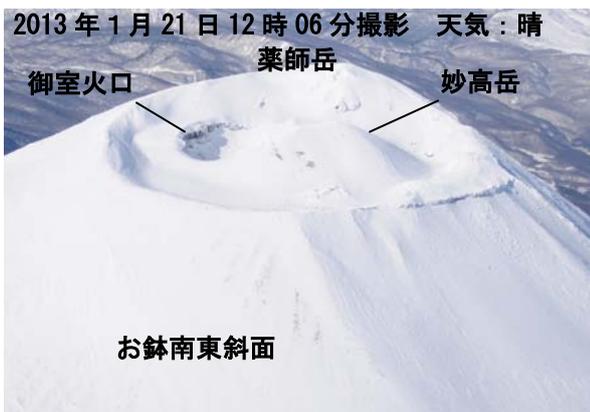


図 3 岩手山 山頂部の可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右）

- ・ 上段：2013 年 1 月 21 日 図 2 の矢印①方向から、陸上自衛隊東北方面総監部の協力により撮影しました。
- ・ 下段：2012 年 4 月 10 日 図 2 の矢印①方向から、岩手県の協力により撮影しました。
- ・ 山頂部の高温域に特段の変化は認められませんでした。

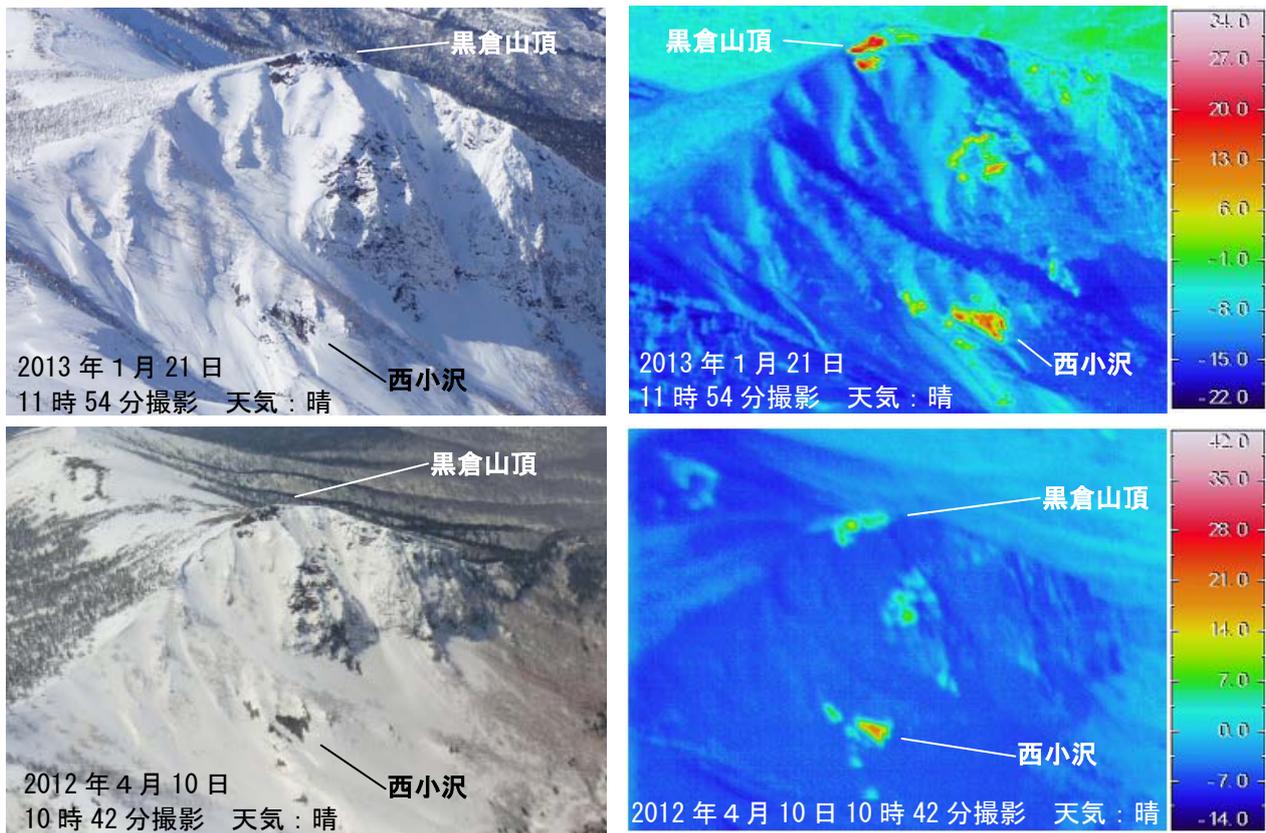


図4 岩手山 黒倉山東側崖面と西小沢の可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右）

- ・上段：2013年1月21日 図2の矢印②方向から、陸上自衛隊東北方面総監部の協力により撮影しました。
- ・下段：2012年4月10日 図2の矢印②方向から、岩手県の協力により撮影しました。
- ・黒倉山東側崖面、西小沢の高温域に特段の変化は認められませんでした。

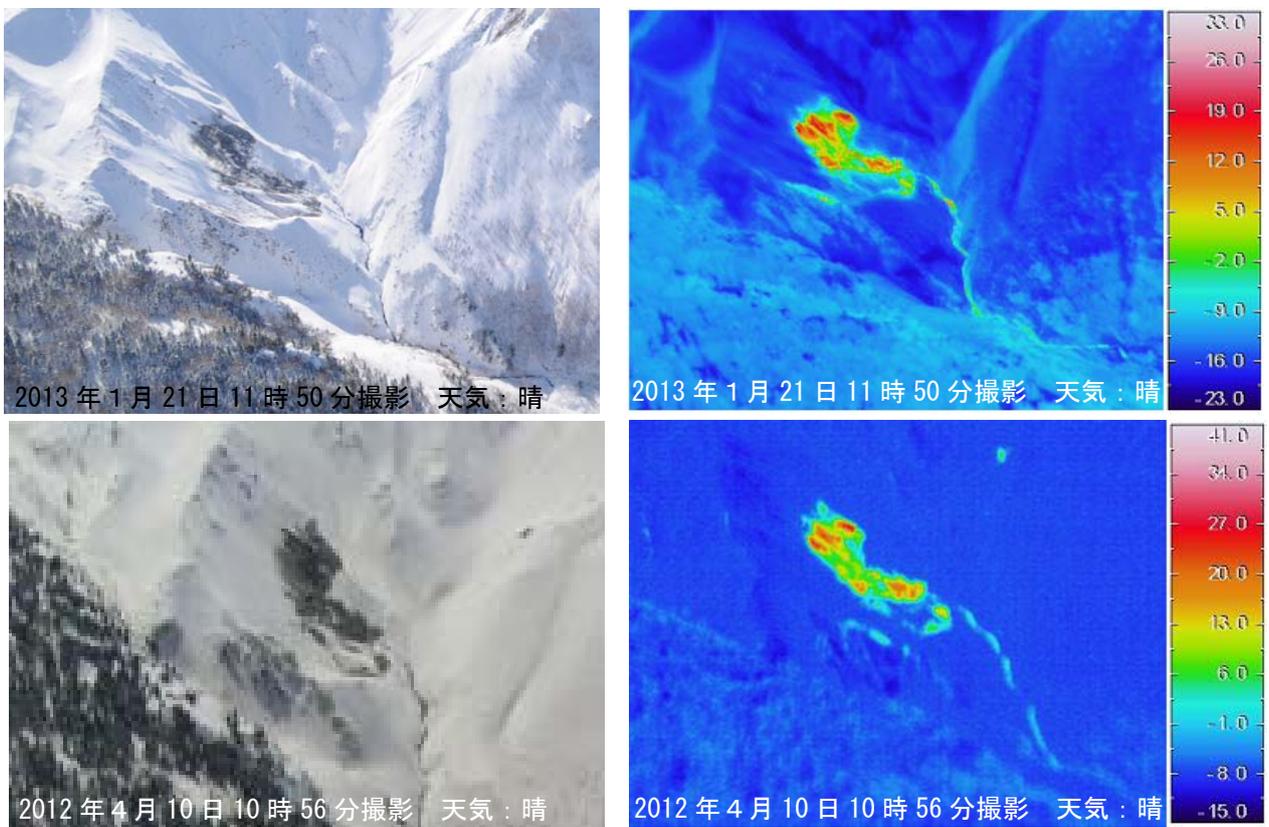


図5 岩手山 大地獄谷の可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右）

- ・上段：2013年1月21日 図2の矢印③方向から、陸上自衛隊東北方面総監部の協力により撮影しました。
- ・下段：2012年4月10日 図2の矢印③方向から、岩手県の協力により撮影しました。
- ・大地獄谷の高温域に特段の変化は認められませんでした。

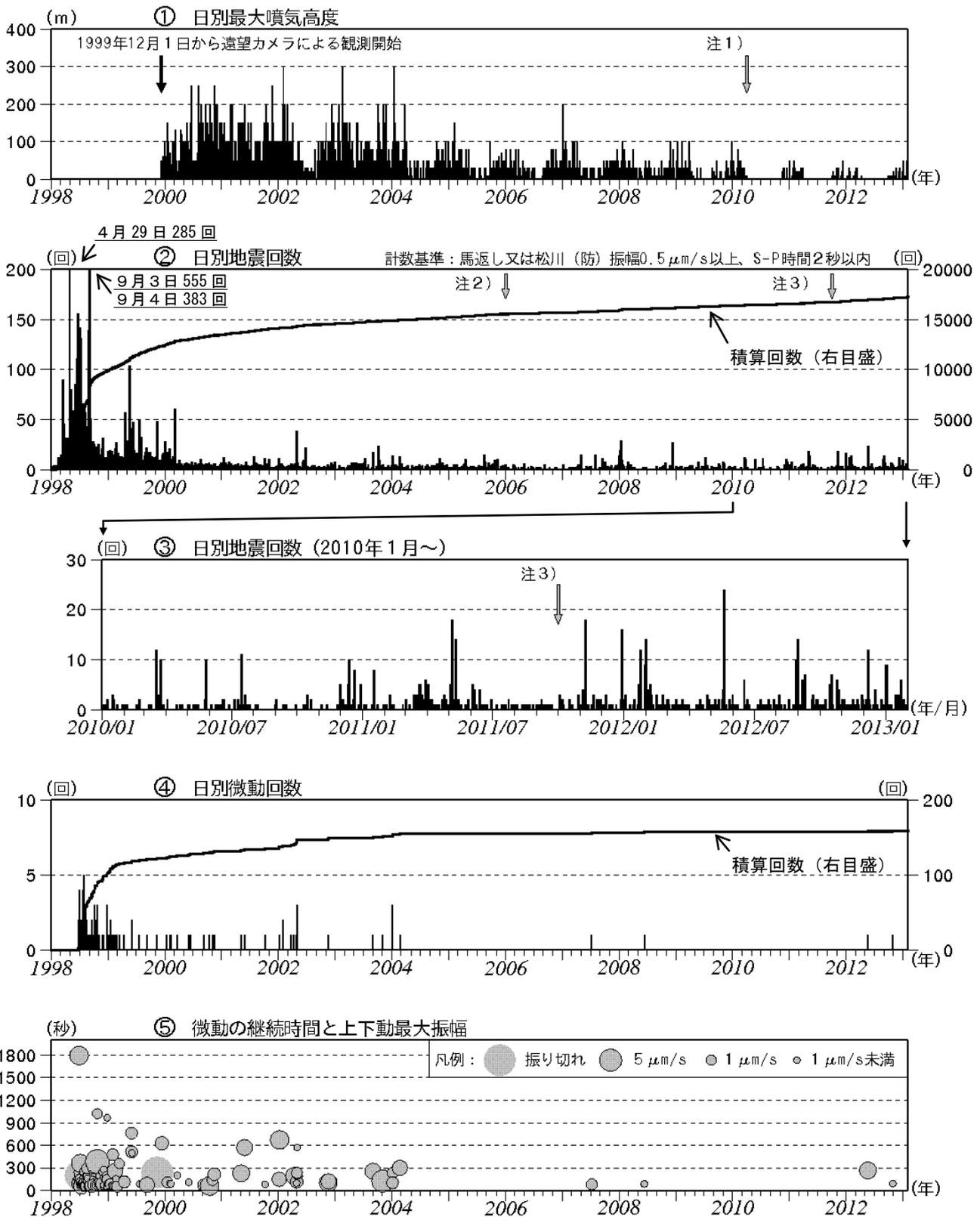


図6* 岩手山 火山活動経過図（1998年1月～2013年1月）

- ・①注1) 2010年3月までは黒倉山のみを観測を、2010年4月1日以降は岩手山全体を観測しています。
- ・②～⑤基準観測点の変更は次のとおりです（角カッコ内は地震回数の計数基準）。
 観測開始 1998年1月1日～ 東北大学松川観測点 [振幅 $1.0\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
 注2) 2006年1月1日～ 焼切沢観測点 [振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
 注3) 2011年10月1日～ 馬返し観測点、及び防災科学技術研究所松川観測点
 [振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2秒以内]
- ・②③2000年1月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した回数です。
 (1998年から1999年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震も含まれます)

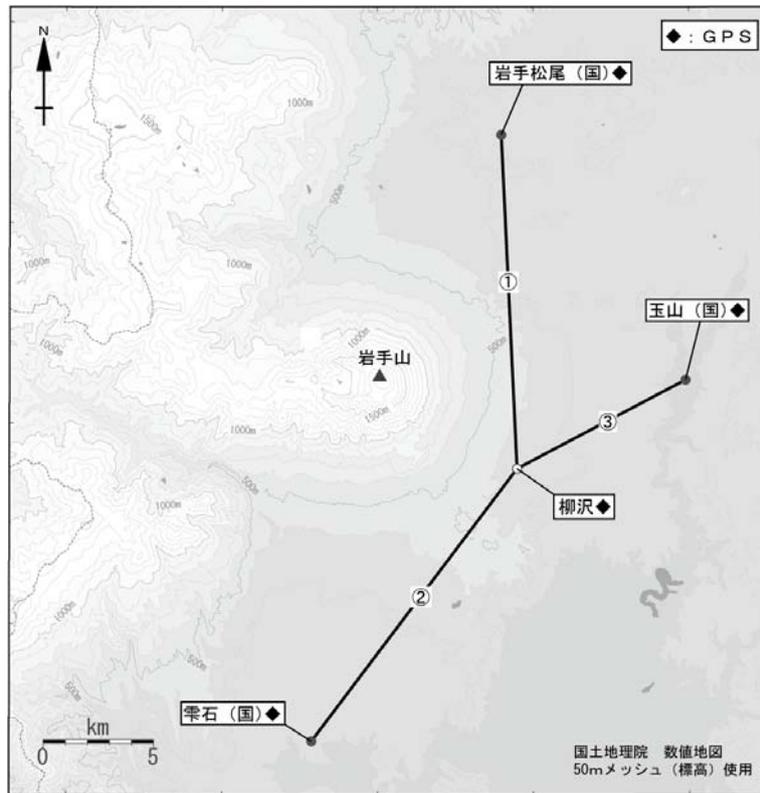


図7 岩手山 GPS 観測点配置図

・小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院

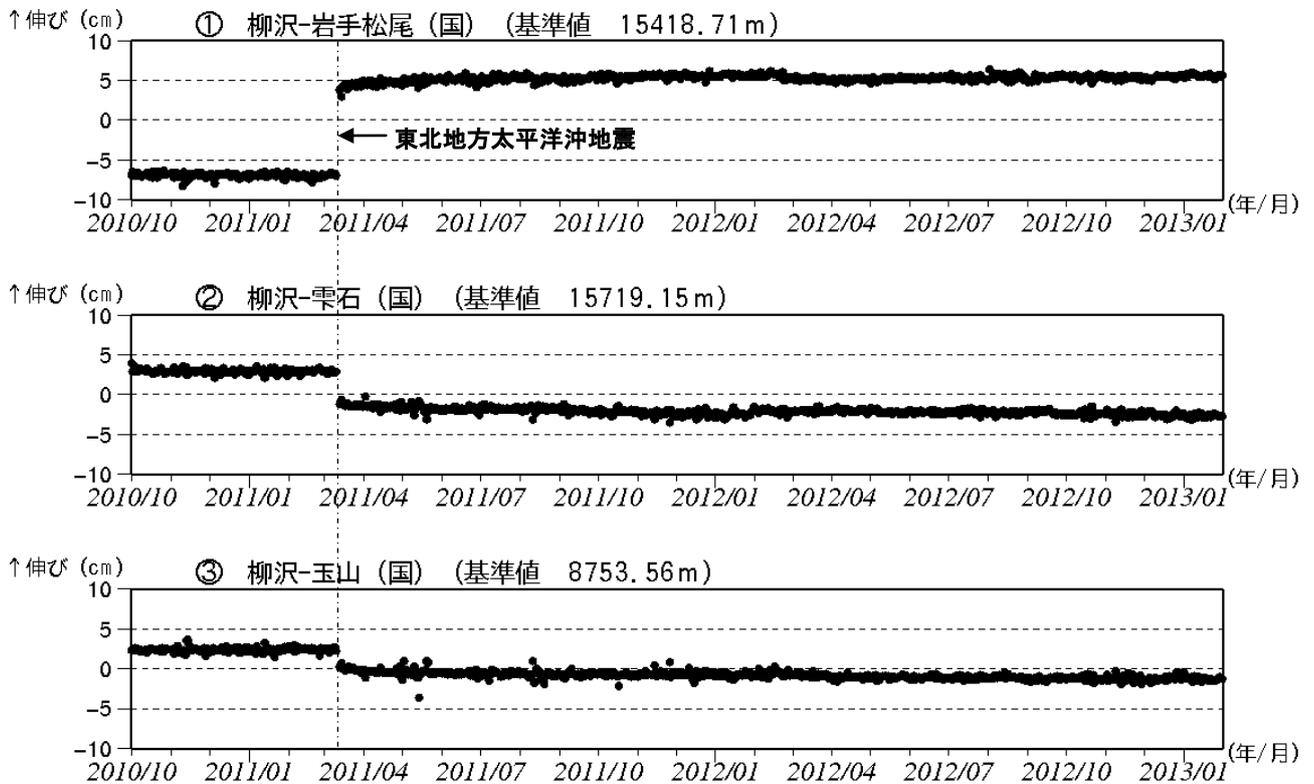


図8* 岩手山 GPS 基線長変化図 (2010年10月～2013年1月)

・2011年3月11日以降の変動は、東北地方太平洋沖地震による影響で、火山活動によるものではないと考えられます。
 ・①～③は図7のGPS基線①～③に対応しています。

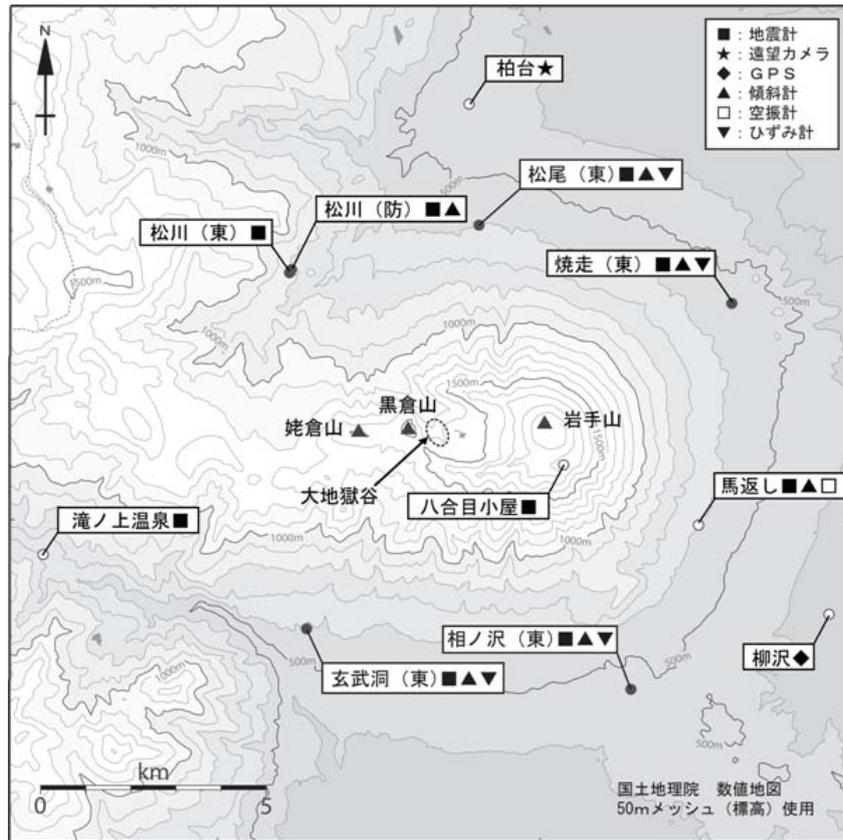


図9 岩手山 観測点配置図

・小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所